



「ふきしま」の1年間の活動をふりかえりました！

- 第6回懇談会には5人が参加し、令和5年度の成果と課題をじっくりと話し合いました。
- 令和6年度のコミュニティ事業計画（案）を見ながら、今後の展望について確認しました。

日時：令和6年1月20日（土）
午後5時～7時半
場所：富木島公民館

成果・変化（抜粋）

将来ビジョンのPR！ in 公民館まつり	・将来ビジョンを地域の人たちに知ってもらうきっかけになった。 ・つなぐノートで、たくさんの「やってみたい！」の声が集まった。 ・つなぐノートを使い、自分の意見を地域に発信する体験、学習の機会になった。
民間施設でPR！	・歯医者で将来ビジョンを置いてもらったところ、来院者に興味を持ってもらった。
地域行事で 小中学生が司会！	・納涼盆踊り大会・運動会では中学生、公民館まつりでは小学校6年生がそれぞれ司会として手伝いに来てくれた。
子どもが楽しめるイベントが増えた	・コロナが明けて子どもが楽しめるイベントが復活し、子どもたちに楽しさを実感してもらえた。



課題・悩み（抜粋）

懇談会への参加者が少なかった	・将来ビジョンの完成がひとつの区切りとなり、懇談会にあまり人が集まらなかった。 ・令和5年度の目標を多くの人に共有してもらうことができなかった。 ・懇談会に参加しやすくするためにはどうすれば良いのだろう。
仲間づくり	・将来ビジョンの認知を深めるためには繰り返し伝え、時間をかけて知ってもらうことが必要。まずは、自分自身がうまく説明できるようになりたい。 ・楽しいイベントへの参加から、イベントを支える側に視点を向けてもらうためには。
余裕がなかった	・コロナ明けでコミュニティの行事を復活させることに注力したため、将来ビジョンの取組に当初の予定よりも手が回らなかった。

令和6年度以降の展望・想い（抜粋）

参加したくなる 楽しい懇談会づくり	・コミュニティ役員以外の方を懇談会にお誘いする。 ・具体的なテーマ（イベント）を決めて参加者を募集してみる。
アイデアの実現	・つなぐノートの意見や懇談会の中で出た、フリーマーケットやマルシェのようなことにチャレンジしてみたい。
子どもが行事の 企画運営に携わる	・子どもが主体となり納涼盆踊り大会などの企画運営ができないか。



本取組に関するご質問等は下記までお問い合わせ下さい

連絡先：東海市市民協働課

電話：052-603-2211
0562-33-1111（内線152、154）

Email
chiiki@city.tokai.lg.jp